

## 市議会モニターとの意見交換会（要点筆記）

開催日時	令和6年3月14日（木）13時30分～14時45分
場 所	光市議会本会議場
出席議員	木村信秀、萬谷竹彦、田邊学、中本和行、河村龍男、森戸芳史、大田敏司、田中陽三、小林隆司、仲小路悦男、西村慎太郎、笹井琢、仲山哲男、林節子、西崎孝一、早稲田真弓、中村譲
市議会モニター	河野俊雄、古賀和人、深來登
事務局員	小田哲之、松尾真、山本正実、西優、起本一生

### 1 開 会

議長あいさつ 木村議長



### 次 第

#### 1 開会

（議長あいさつ）

#### 2 意見交換

#### 3 開会

（副議長あいさつ）

### 2 意見交換

#### ○河野俊雄さん

今日は優しいテーマで、質問は三つほどあります。一つ目は海についてです。戸仲の波止は釣りができないのですが、これは市の管轄だと思います。光井港は県の管轄ですから入れます。だけど、釣具屋さんが潰れるぐらいに閉鎖的です。なぜ光市はこのように、釣り人を避けるのでしょうか。汚して帰る人もいるからということはあると思いますが、どうして禁止にしたのか。これが一つのテーマです。

二つ目は、室積と漢字で書いてあるプレートに、なぜふりがなを打たないのかということです。私は以前に「室積（むろせき）はどこですか？」と2回ほど聞かれたことがあります。「上関（かみのせき）はあるけど室積（むろせき）っていうのはないですがね。」と答えた後にピンときて、室積（むろづみ）のことなのかと分かりました。

三つ目は、市民が市役所に申し出ても協力して解決しようという体制は取れないのかということです。光井港で野良猫が半年ぐらいまで相当数いましたが、猫が一気に最近いなくな



りました。今、2匹ほど残ってしまっていて、昨日は1匹もいなかったように思います。そこでいつもえさを置いていく女性に声をかけたら、「私が全部持って帰りました。」と言われました。「あと2匹が捕まらないです。」とのことでした。また、メスは全部避妊手術をしたとのことでした。「それは大金がかかりましたね、それは市の方から何とか」と私は言ったのですが、「私が何回も市の方に届け出ました。」と女性は言いました。ところが、市の方では「そういう例がありませんからと、いつ行っても同じ回答です。」と言われました。「ですので、仕方なくそういった対応をしました。」とのことでした。その辺は、環境の窓口になるかどうか分かりませんが、どうしてそういう申し出をしても、何とか協力しますよってというような態度がとれなかったのか、ご回答をよろしくお願いします。

### ○笹井議員



私も室積でいろいろ書籍などを作っておりますが、ローマ字で書くときに室積を「ZU」にするか「DU」にするかを悩んだことがあります。もともと漢字で書いたときに「室積」なので、「積(せき)」だと「S」だと思いつつも、さらに昔の古文書を見ると「室」に「住む」で、(むろずみ)と読んでいた時代もありまして、漢字としては決まっていますが、よみがなというのは、きちんと定められたものがございません。ローマ字表記になると、まだこれといって画一したものはないと思います。

あと、場所の案内については室積だけではなくて、光市の中の地名、光井や浅江などの道路掲示板なども掲示しておらず、やはり光駅や石城山などの観光スポットに向けての掲示板はありますが、小学校区単位や大字単位での掲示板というのは、道路標識ではなかったかと思えます。室積だけではなくて、大字についての掲示は難しいと思っております。ただ、室積公園口という場所の掲示板は国道にありますので、そこまでくれば室積とわかりますけど、河野さんが言われるように遠方の方は室積(むろずみ)と読むのは難しいと再認識しました。

### ○河野俊雄さん

わざわざ遠くから来る人達へのやさしさとして「室積(むろづみ)」と表示するのが親切だと思います。尋ねられた回数も多いので、専門家として、配慮をお願いします。

### ○田邊議員

漁業権というのが定置漁業権・区画漁業権・共同漁業権の三種類があります。昔はそこまで広く法的には決められておらず、各地で釣りができていました。最近はいろいろなものを採取した場合に漁業権に関して、民法上の罰金を科せられる問題が起こる場合があります。私も詳しくはありませんが、そういったところも背景にあると思います。



また、釣りをする人が減ってきているのではないかと思います。市がどこまで管理しているのかということもありますが、今後そういったところはもっと市民がレジャーを楽しむことができる形で、今後の課題として取り上げていかないといけないと思います。でないという問題が今後も出ると思います。

漁業権の中の範囲であるのか、それとも、他の問題なのかは少し勉強させてもらって、そういった問題を改善していきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

### ○河野俊雄さん

最近、釣り禁止の看板が立ったのですが、これは市議会を通して禁止になったのでしょうか。それとも一方的に市の方から禁止にしたのでしょうか。

### ○田邊議員

市議会を通して実施したものではありません。私が議員になってから、そういったものを市議会の中で問題として取り上げたことはありません。

### ○河野俊雄さん

2～3匹を釣るだけで漁民の生活を圧迫するのでしょうか。どれだけ光市の漁協は貧乏なのかと思いますが、室積の漁師からは光井の漁師は「のおくれ」だと言われます。室積の漁師の方が立派です。光井の漁民は努力をしないというのは昔からの評判です。しかし、いろんな補償はもらっています。今でも補助が出ていると思うのですが、20年ぐらい前に、船で沖に出て寝ていても、燃料を使ったという証明があれば補償がおりるというのを漁師が自慢げに言いました。いまだに同じことだろうと思っています。

つまり、取った魚も売り、補償ももらっているということです。だから、釣りをして少し獲ったぐらいは何の問題もないと思いますので、立て札をすぐに議員の方から廃止にするようにしてください。

### ○萬谷議員



補償の件は答弁しづらいですが、私は釣りを趣味としていないので詳しくないですが、なぜ立て札が立ったのかという点は調査したいと思います。その上でお返事をしたいと思います。

### ○西村議員

野良猫の問題ということで、私も家で猫を飼っているのですが、そういった問題はいろんなところから耳にします。TNRといって、捕まえて避妊去勢をして元の場所にリリースして、猫が生を全うできるように且つ増えていかないようにする活動があるというのを知っています。

環境政策課が主な所管ですけど、そちらの窓口の方に個人や団体の方が訪問している状況は私も知っております。なぜその問題が前に進んでいかないのか、私としても所管課を含めいろいろとヒアリングしております。

そうすると、実態としては、極端に分かれていることがわかります。まず一つ、猫がかわいそうだから避妊去勢をするための場所を貸して欲しいとか費用の助成をしてほしいという意見が一つであります。

一方では、もう自分の私有地の中に猫が入って糞とかをするから全て処分してほしい、TNRなど一切そういう活動はしてくれるなという二つの種類の方がいらっしゃいます。この



状況がある中で、市の税金を投じてそれをどういうふう適切に対応していくのかという問題や、いろんな団体の主張が市の条例であったり、法律などに則って適正にどうやって処理されるべきなのかというところで、弊害があるというふうに感じています。

今は地域猫という制度において、自治会単位で面倒を見るという趣旨のものが県が実施している活動の一つとしてあります。今はそういったものを通じて、まずは広く、そういった方に周知理解していただき、その方法に沿うように活動している段階かなと思います。

## ○河野俊雄さん

どうしてこんなつまらないことをテーマにしたかっていうと、市の窓口が横柄だからです。猫のことで、何日か前に窓口に行ったら「そういう前例がないことは受け付けません。」という言葉で終わりました。後日改めて違う方に言ったら同じ回答でした。簡単に言うと、「難しいことは受け付けません。」ということです。

光市立図書館には4冊ほど、トラブルが起きたり、難しい問題が発生した場合にどうやって排除するかという本があります。そういったノウハウの本があります。

私がなぜこんなことを言うかということ、市民にもっと近づくような政治をしてほしいからです。市長を注意するのは議員しかいないからです。市の執行部に始まり、市の窓口を教育したり指導したりするのは議員の皆さんです。その議員がしっかり機能すれば、窓口が良くなります。その議員をしっかりさせるのは我々市民です。ぜひそれを念頭に問題を解決してください。

## ○古賀和人さん



意見交換の中で今議員さんが実施している、市議会報告会とモニターとの意見交換会それから高校生との意見交換会の問題についてお話しします。まず、議場の横断幕の「あなたの声と共に開かれた議会を目指します」というキャッチフレーズは、議員が市民のいろんな問題や悩みなどに耳を傾け、それを行政に伝え、なおかつトップである市長に対して正していく仕組みだと思えます。しかし、市民との座談会の中で最初から議会に関する問題をテーマに絞っているのは、口封じ的な状況になっており、本当は聞きたいことが聞きづらい状況です。だから私はある意味、その場で答えられないのは仕方がないので、調べて答えるという形で良いと考えています。そういうような形で市民の皆様からの声を聞き、何が言いたいのか何が溜まっているのか、あるいは市のために何をしたらいいかという市民の方から出る意見に対して、議員さんは素直に聞いてくれるシステムが良いと思えます。

それで、モニターになりませんかという時に、発言の制限があるからつまらないという方が圧倒的に多いように思います。我々は5年を迎えていますが、いまだにそういうところが見受けられます。モニターは要するに市民側に立って議員さんと同じ目線の中で、議員さんたちが気が付かないところを指摘して、改善に向けてこうやってもらいたいというのを補助的な形で言わせてもらう役目を持っていると思っています。そういう意味で、議員の方では一応やった感だけのシステムになってはいないかなというのが気になるところです。

もう一つ、高校生との意見交換会を聞いていますが、出ている問題が何年前と変わっていません。大きな問題の一つが、光高校のトイレ問題です。県の関係ということでしょうが、

市の方としても光市にある県立高校ですので、切実な声を聞いてほしいと思います。例えば、光市も県議会議員が2人いらっしゃいます。その方に対しても、ぜひ取り上げてくださいとお願いをすることも大事でしょうし、直談判もできると思います。もう一つは、光市に活がない、若者が集まる場所がないということがあります。例えば、今ある図書館の中にちょっとしたカフェを開くというようなこともアイデアだと思います。郷土を愛する気持ちを植え付けてあげるのは、市の職員も含めて議員が一斉に実施すべきことだと思います。そういった若者の意見にもう少し耳を傾けること、そして、政治への関心を育てるということも大事なことです。一つ一つそれに対して答えてくれるっていう気持ちがなかったら、若者も言っても駄目だということになってしまうと思います。そういった形で、声を反映させていただくということが大事じゃないかなと思っています。

もう一つはモニターの件ですが、先日の広報広聴特別委員会でも話ができましたが、3年経ったら辞めてもらうっていう話が出ました。これがなぜなのか、廃止したいという考え方があるのかなという気がしてなりません。モニターの数が増える様子もないし、モニターとしての継続性の問題についてどう考えているのでしょうか。あるいはモニター制度から、サポーター制度に発展させていく考えはあるのでしょうか。私たちは一体となってこの市をよくしようという気持ちを持っています。そういう気持ちが議員にあるのかなということもお聞きしたいなというふうに思います。

それともう一つ、前事務局長はこのモニターとの意見交換会に出席していなかったと思うのですが、なぜ出席しようと思ったのかをお聞きしたいと思っています。

それと、防災指令拠点施設の機能というものがどこまで本当に市民に浸透するかということをお聞きしたいなと思っています。

次に、交通問題で、JRが撤退して、今度は防長交通がやるということですが、光市には当然ながら市営のバスも存在しているので、発展的に市営バスでというのは考えられないのでしょうか。それともう一つ、ぐるりんバスは室積にはこ来ないので、もう少し対応を考えていただけないでしょうか。

次に、お年寄りの方の関係でコミュニティセンターを幅広く活用してほしいという話がありますが、東部憩いの家や西部憩いの家等、老人の方が集まる場所について、統廃合の問題もあります。お年寄りがコミュニティセンターに行って利用することは厳しいので、これを残してもらいたいっていうことをお話しさせていただきたいと思っています。

最後に、光市の宣伝にもっと力をいれてほしいということで、YYターンという県の冊子の光市のページをもっと光市をPRするような内容に刷新してほしいと思います。

## ○森戸議員

高校生からは、以前もバス停を作ってほしいという声があって、議会でも取り上げられて、実際に設置されたという経緯もあります。我々は聞いてないということでもありませんし、何らかの形でその声をしっかり届けていきたいと思っていますので、その辺のところはよろしく願いいたします。



また、若者の声の部分について、明石市に視察に行ったんですが、子どもの総合支援条例っていうのを作っていて、例えば総合計画などに若者の声を必ず反映させるという取り組みをしている所もありますので、そういった条例化が必要だと思います。

その件に関しては議会の中でもそういう提案が出ていますが、市長は今のところそこまでは考えていないという答弁でしたので、議会側として声を出しているということは、ご認識をいただけたらと思います。でも、若い人の声が反映されないと未来はないのかなと思いますので、引き続き、そういうことも求めていきたいと思います。

それとYYターンのお話がありましたけど、地元はずっといると外からの視点が持ちづらくなるという側面があると思います。この前の委員会の中で水についての質問がありましたが、水自体はすごく健康に良いし豊富な水資源があります。工業用水として送水もしており、本市の強みであります。そういった点をシティプロモーションの部門で連携して、売り出していくことも必要であると考えます。

モニターの継続性については、サポーター制度の導入も以前からの課題で、現在提案もしていますので、ご理解をいただきたく思います。

防災センターに関しては災害があったこともあり、地域防災力を高めることが重要ですので、現在は三島コミュニティセンターを建設しています。連携をして地域の防災力を高めるバックアップの機能が、この地域防災センターの役割の1つです。今からこういった効果が発揮されていくのか、効果が上がるようにチェックをしていきたいと思います。二重投資と言われるかもしれませんが、災害が起こったときにはやはりそこにたくさんのお金が使われましたので、当時の決断は間違っていないと思います。防災指令拠点の価値が高まるように、引き続き取り組んでまいります。

次にバスについて、究極的には交通局を作って、市営バスを作ればできると思いますが、運転士の確保が一番の課題です。新聞を見ていると山口市も確保の補助金を出すという記事もありましたので、そこまでは出来ないにしても、本市のやり方もそちらに近づいていると感じています。バスの所有を市がする仕組みもあり、そちらに寄ってきていることは間違いないと思います。運転士の確保ができなければ、そちらの方にやっぱりシフトしていかざるを得ません。あくまで負担を減らしながら、サービスを高めながら、そのせめぎ合いだと思いますので、引き続きその点を注視していきたいと思います。

憩いの家の廃止について、我々の委員会の中でもいろんな声が出ております。やはり耐震が一番心配ということや、室積はコミュニティセンターがございます。実施している内容が同様なので、そちらに移ったらどうかというご意見も出ていた一方で、絶対残すんだという意見も出ていました。我々の議会の中でもいろんな意見がありますが、やはり公共施設自体、今のまま保有をして全て更新すると、1000億円ぐらいのお金がかかりますので、将来を見据えて適正な配置といえますか、老朽化したまま維持するのはやはりこちらの側の責任になると思いますので、丁寧に説明し、ご理解をいただきながらと考えています。

## ○小田事務局長

意味合いとすれば、議会の議員と委嘱しているモニターの皆さんが、議会がどうあるべきだという議論をされる状況の中で、事務局長として、他の職員も含めてしっかりお聞きして、どういうふうを考えていくのかということと、議会の運営を補佐する立場でありますので、私は当然入るべきだと思って参加しています。今後も入るべきだろうと思っておりますので、仮に異動があった場合、次の事務局長にも入るように申し送るつもりです。

## ○古賀和人さん

やはり、この場に入っていただいて流れをつかんでいただき、潤滑な運営を考えていただくのが事務局長の務めだと思いますので、よろしくお願いします。

それと憩いの家の関係ですが、コミュニティセンターは混んでいるため、年配者はなかなか使えないのが実情です。また、東部憩いの家では、カラオケルームや麻雀ルームがありますが、今の室積コミュニティセンターにはありません。コミュニティセンターにない施設を作ることができるならば、現行の施設を廃止してもよいと思います。例えば古いものは壊すが、人口の割合と利用者などを計算しながら、必要なものであれば存続させることや代替手段についても検討していただきたいと思います。

それともう一点、私は個人的に室積海商通りのガイドを努めています。先ほどの河野さんから室積（むろせき）という話がありましたが、宣伝が下手だったのかなと反省しております。やはり、地元を知らない人が多いので、教育委員会にも地元愛を復活させるべく、小中学校で地元の歴史文化を徹底的に教育の中に織り込んでくださいとお願いをしまして、協力していくような声をいただいたところです。そういったことで我々も頑張りたいと思います。

## ○深來登さん



11名の連合自治会長が毎月各地区の問題点とか活動を勉強したりしておるところでございます。その中で、市民の悩みを少しでも解消しようとやっているつもりで、そういった面では皆さんより、地区のことについては良く知っていると思います。嘆願書も出したりして、皆さんに負けてないような活動をしております。

この10月には選挙がございますが、そこで、皆さんが立候補される時、こういうことをスローガンにどういうふうに乗せるのか、お話しておきたいと思います。

まず、住んでよかったと市民が思う光市とはどんな光市でしょうか。この考え方はそれぞれ違うと思いますが、ちゃんと柱として各人持っていただきたいと思います。それに関係して、若者がどんどん減っています。若者が集う場所がありません。夏だけ集まるのではなく、イベントをやったり、音楽会をやったり、他の町からも男女が集まって、そこで語り合う、そうして知り合う、そして結婚するということまでいくようなイベントやまち作りの計画を何らかの形で考えていただきたいと思います。ただ海水浴の海があるから夏は良いというだけではうまくいかないと思います。男女が仲良くお付き合いできるそんな町にしていきたい。

その後に、結婚や出産というのがありますが、子どもさんが小学校に行くまでの育児の方法が変わりつつあります。物価高が進む一方で一部の例外を除いては給料が上がらないので、共働きをしないといけないという実態があります。ところが扶養の範囲内で働くとなると、1ヶ月のうち何日かしか働けないというような労働問題がございます。そういったときに幼児をどうやって育てるのかというのは、大きな問題だと思います。

それから病院の問題や交通の問題・幼稚園の問題もあります。そういったときに、両親が働いていたら、子どもだけ預けるとい形になりますが、そうしたときにどうしているのですか。そういうときの市の援助はどうなるのですか。保育問題もあると思います。だから、こういうこともしっかりと勉強して、次回の立候補のスローガンにしていきたいと思

ます。

それから、光市の労働条件は良いのでしょうか。私が何を言いたいかというと、賃金というのは高いか低いかではなく、働く人をうまく育てるか育てないかによって賃金というのは決まってきます。だから賃金を働く人に厚生施設として渡していけば、労働者は豊かになってきます。そうすると余裕が出てきます。こういったことも選挙のときの問題にさせていただきたいと思います。

それから、義務教育の問題について、教育長が引いている路線をそのまま進めるのか進めないのかは、その地域でいろいろ変わってくると思いますので、ここでどうということではないのですが、ややもするとインターネットやパソコン等に頼りがちで、対話のないお友達になってしまう気がしてなりません。これは絶対避けるべきだと思います。

最後に、75歳以上の老後の問題です。今回の委員会の中で百歳体操を推薦しようというようなことが可決されました。非常にいいことだと思います。皆さんもたまには行って、真似してみてください。お祭りがあると行ってください。そして顔を覚えてもらわないと。ただ、ポスターだけで当選しようと思ったら大間違いだと思います。健康で長生きするにはどんなことを施策したらいいのかということ、スローガンで取り上げていただきたいと思っています。

### 3 閉会

副議長あいさつ 笹井副議長

